

令和4年度 第2回 外国人技能実習機構評議員会

- 1 日時 令和5年2月6日（月）10時00分～11時30分
- 2 場所 Web会議システムによる開催
- 3 出席者 多賀谷評議員（議長）、上林評議員、野村評議員、川野評議員、奈良評議員、村上評議員、大下評議員、佐久間評議員、堀内評議員

4 議事

- (1) 令和4年度事業実績（上半期）について
- (2) その他

5 議事概要

- (1) 令和4年度上半期の事業実績等について、事務局から説明が行われた。
- (2) 評議員からの以下のような意見や質問に対して、事務局から説明が行われた。
 - ・ 技能実習制度及び特定技能制度の在り方について議論がされているが、今後も、外国人材の受入れ現場を監理・支援する仕組みは絶対に必要である。
 - ・ 技能実習生からの相談を受けることはもちろん、問題を解決に導く対応こそ技能実習生が求めていることではないか。
 - ・ 監理団体と登録支援機関は兼ねることができるため、同じ人が同じようなことをやっているのに、監理団体のときは非営利、登録支援機関のときは営利ということにもなるので、矛盾が生じているように思う。
 - ・ 日本がベトナム人を安価な労働力として活用しているのではないかとベトナムに思われていないか懸念されるので、技能実習生の受入れに関して、日本を代表してベトナムと交渉する主体が必要だと考える。
 - ・ ベトナムで送出機関に関連した法改正があったが、具体的な改正内容およびベトナム人技能実習生に生じた影響を伺いたい。
 - ・ 送出国政府への通報等の実施に関し、通報の件数及びどの国に対し実施したのか教えていただきたい。
 - ・ 技能実習生数と異なり、監理団体数は増加し続けている要因について伺いたい。
 - ・ 実地検査の件数が増加している要因を伺いたい。
 - ・ 実地検査で行っている技能実習生からのヒアリングは、技能実習の実態を把握するうえで非常に重要だと思うが、ヒアリングの実施状況及び効果について伺いたい。
 - ・ 助成金の不正受給やセクハラなどの問題を起こした事業者等について、技能実習生に関連してのみ問題を起こしているのか、それとも、技能実習生以外の労働者に関連して同様の問題を起こしているか把握する必要がある。
 - ・ 技能実習生からの相談が増加している要因と多く寄せられる相談や物価高に関する

るものなど特徴的な相談があれば伺いたい。

- ・ 特定技能など技能実習以外の在留資格の方からの相談状況を伺いたい。
- ・ 特定技能外国人からの質問を受け付けたときには、各業種の関係団体に情報共有等を行っているのか伺いたい。
- ・ 転籍支援における対応の流れや対応期間を伺いたい。
- ・ 実習先変更支援サイトについて、今年度から多言語対応としたことで、利用者数や利用層など前年度までと異なる傾向があれば伺いたい。
- ・ 技能実習生の入国後講習等において機構の存在や相談窓口の認知度向上のため、各種SNSや監理団体及び外国人支援機関などを通じた継続的な情報発信が必要である。
- ・ 問い合わせへの対応や情報発信について、チャット機能を使った即応的な情報提供の導入を検討していただきたい。
- ・ 各種申請に係る問い合わせについて、事前にメールで相談事項を送ったうえで電話相談やオンライン相談ができるように検討していただきたい。
- ・ 電子申請システムの導入について、着実に進めていただきたい。
- ・ 技能実習制度及び特定技能制度の在り方について議論がされているなかでのデータベースシステムの改修となるので、有効な設備投資となるよう改修スケジュールを適切に管理していただきたい。